

- ◆ 令和2年5～6月の景況感DIは、**-62.60**と前回（令和2年2～3月実施）より**31.10**ポイント低下し**過去最低の水準**となった。
- ◆ 従業員の過不足感について、「**不足**」「**やや不足**」と回答した企業の割合は、正社員で**32.8%**、パート・契約社員等で**21.6%**となり、過去最低の水準となった。
- ◆ 令和2年3月卒の新卒者の採用については、「**計画通り採用できた**」と回答した企業が半数を占めた。
- ◆ 令和3年3月の新卒者の採用計画については、前年に比べ「**採用人数を増やす**」と回答した企業が減少し、「**採用人数を減らす**」と回答した企業が増加した。



## 令和2年度 第1回ハローワーク雇用等短期観測の結果

令和2年7月30日 大阪労働局職業安定部

### ○実施目的

大阪労働局では、事業所サービスの一環として、平成25年度から四半期毎にハローワークによる管内企業への個別ヒアリングを行いながら、事業主に対し必要なサービスを提供しています。今回、令和2年度第1回目を実施し、本業務で得られた業務データを取りまとめました。

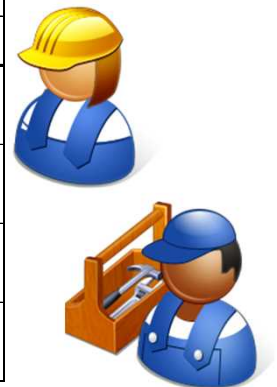
○実施時期 令和2年5月1日（金）から令和2年6月12日（金）まで

○対象企業 314社

( )は構成比



規模別	産業別	産業計	製造業	非製造業
規模計		<b>314社</b>	177社 (56.4%)	137社 (43.6%)
99人以下		115社 (36.6%)	63社 (20.1%)	52社 (16.6%)
100人以上 499人以下		118社 (37.6%)	79社 (25.2%)	39社 (12.4%)
500人以上		81社 (25.8%)	35社 (11.1%)	46社 (14.6%)



※本文中の「DI」とはDiffusion Indexの略

景気の現状、景気の先行き、正社員、非正規社員の過不足感に対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて大阪労働局独自でDIを算出している。

- ・ 良い、不足している . . . . . +1.0
- ・ やや良い、やや不足している . . . . . +0.5
- ・ 変わらない、適正 . . . . . 0
- ・ やや悪い、やや過剰である . . . . . -0.5
- ・ 悪い、過剰である . . . . . -1.0

※ 構成比(%)については、小数点の調整により合計と各項目の足し上げが一致しない場合がある。

# 1 景況感について

※景況感DI:「良い」または「やや良い」と回答した企業の割合から「悪い」または「やや悪い」と回答した企業の割合を差し引くことによって算出した指数。

【景況感DIの推移(全企業)】



【全企業】

・令和2年5月～6月の景況感DIは、前回(令和2年3月実施)より**31.10ポイント**低下し、**-62.60**となった。

※全企業(314社)の回答割合「3か月前と比べた現在の景況について」

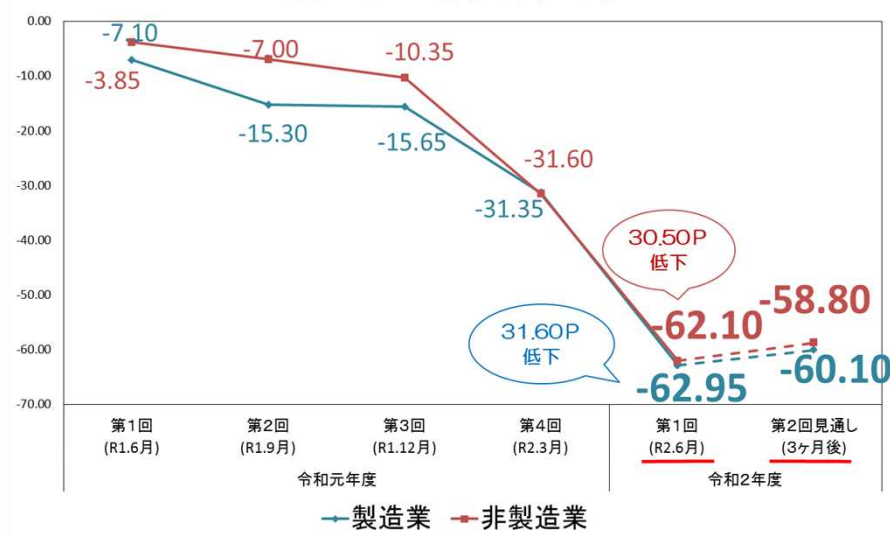
良い・やや良い: **4.5%**  
 変わらない: **12.9%**  
 悪い・やや悪い: **82.6%**

・3か月後の見通しDIは、現在より**3.15ポイント**上昇し、**-59.45**となった。

※全企業(314社)の回答割合「3か月後の景況について」

良い・やや良い: **6.8%**  
 変わらない: **14.2%**  
 悪い・やや悪い: **79.0%**

【景況感DIの推移(業種別)】

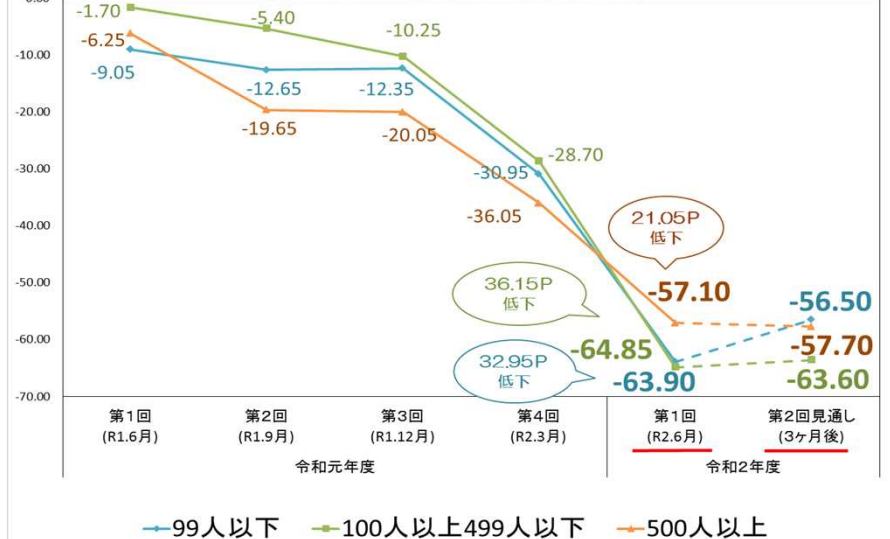


【業種別】

・令和2年5月～6月の景況感DIは、**製造業が31.60ポイント**低下し**-62.95**、**非製造業が30.50ポイント**低下し**-62.10**となり、いずれも低下となった。

・3か月後の見通しDIでは、**製造業、非製造業ともにわずかに上向き**となった。

【景況感DIの推移(企業規模別)】

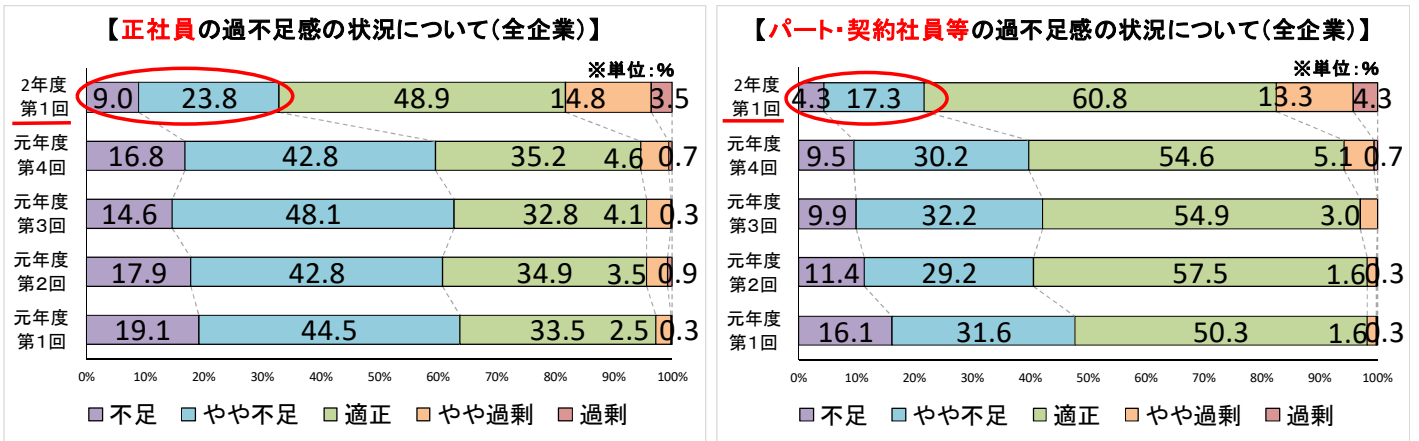


【企業規模別】

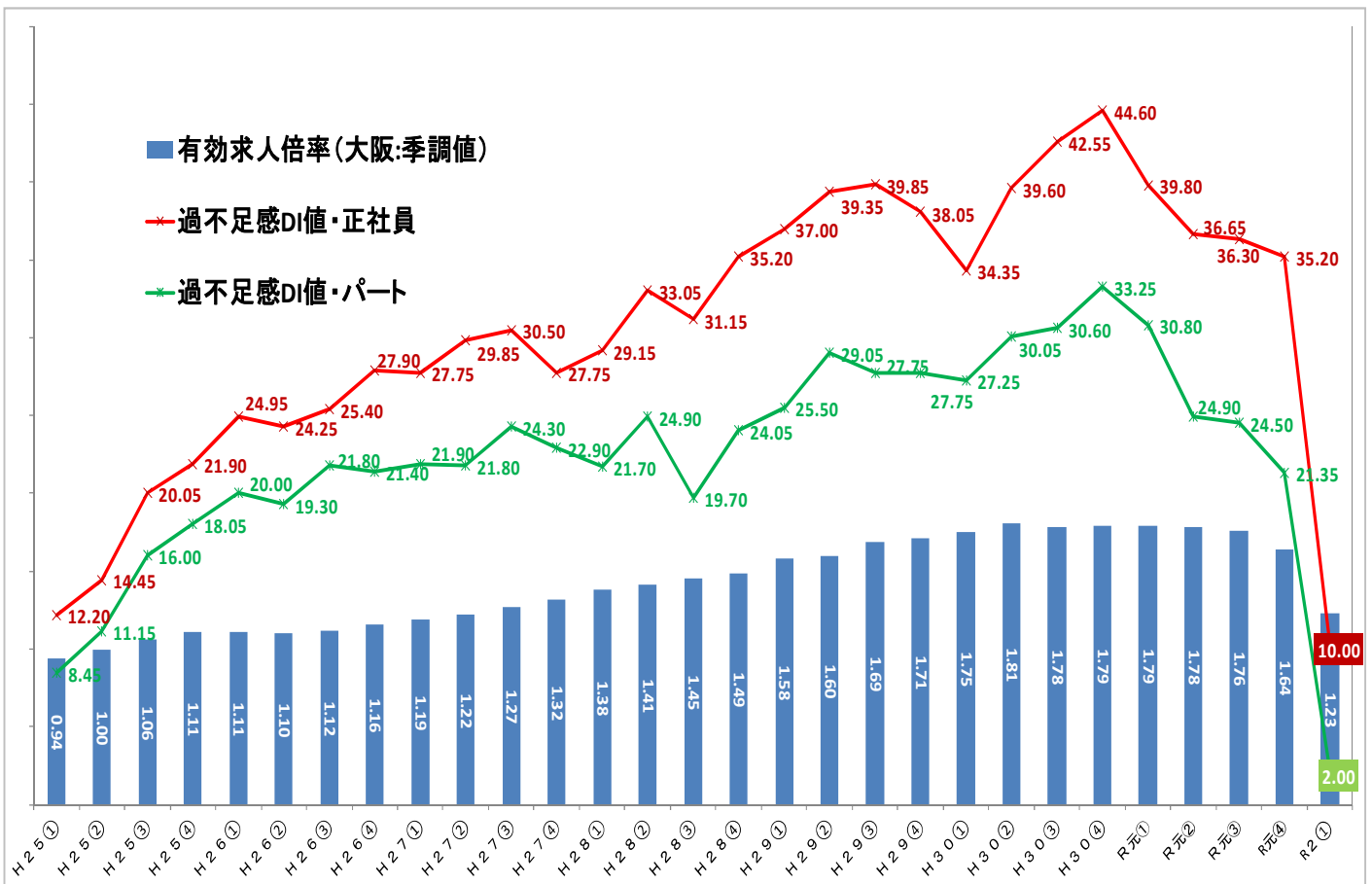
・令和2年5月～6月の景況感DIを規模別にみると、**すべての企業規模で低下**した。

・3か月後の見通しDIでは、**全体的に横ばいもしくはわずかに上向き**となった。

## 2 従業員の過不足感について

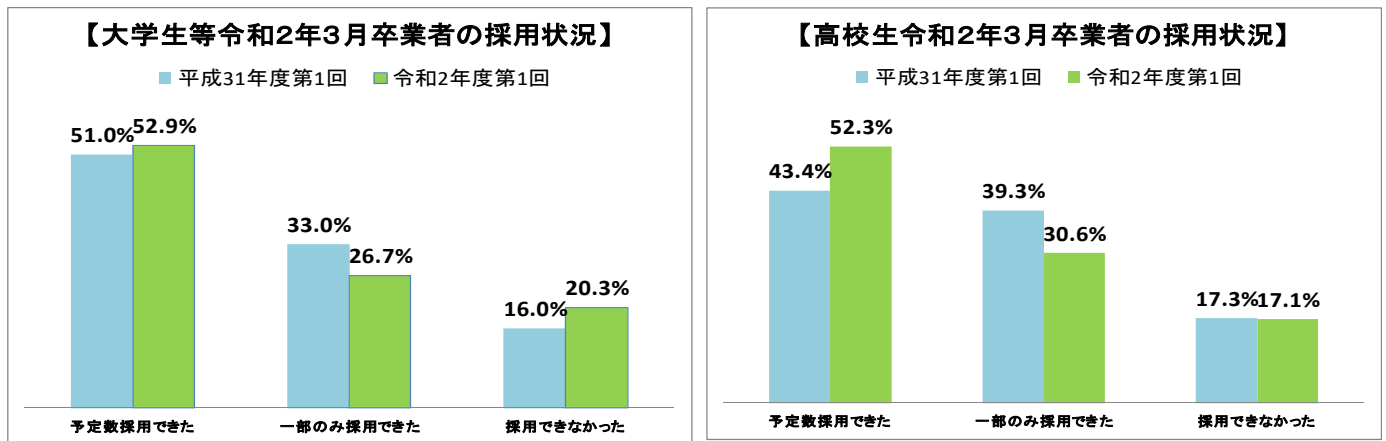


- ・正社員の過不足感について、「不足」「やや不足」と回答した企業は、前回から**26.8ポイント**低下し、**32.8%**となった。〈左グラフ〉
- ・パート・契約社員等の過不足感についても、「不足」「やや不足」と回答した企業は前回から**18.1ポイント**低下し、**21.6%**となった。〈右グラフ〉
- ・過不足感のDI値は、正社員では前回に比べ**25.2ポイント**低下し**10.00**、パート・契約社員等では前回に比べ**19.4ポイント**低下し**2.00**となり、**過去最低**を更新した。〈下グラフ〉



※過不足DI:「不足」または「やや不足」と回答した企業の割合から「過剰」または「やや過剰」と回答した企業の割合を差し引くことによって算出した指数。

### 3 令和2年3月大学等および高校卒業者の採用状況等について



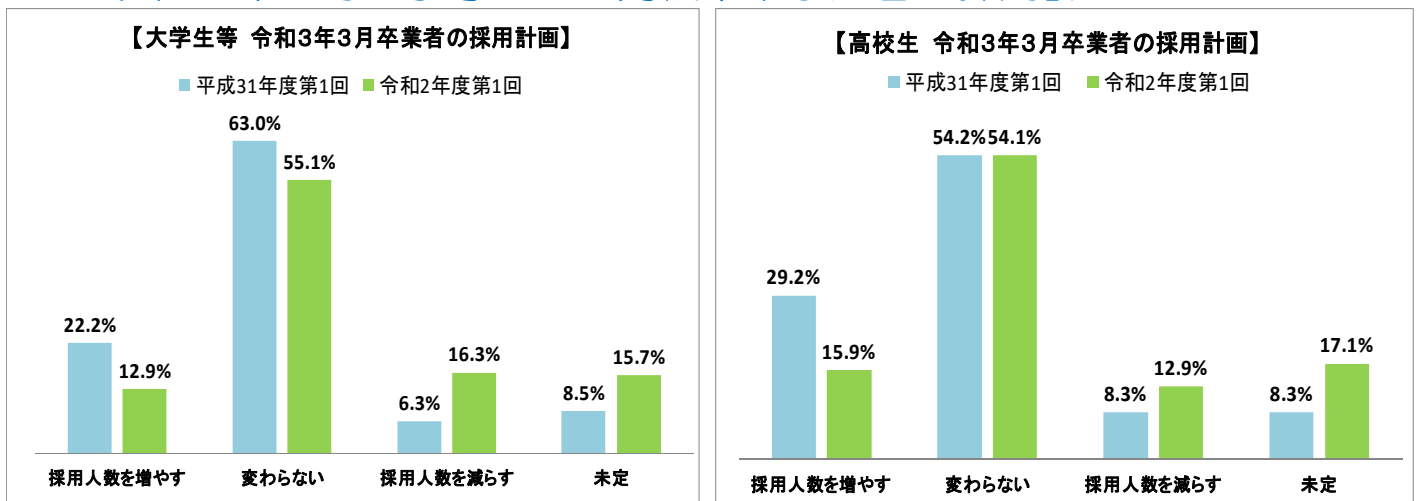
令和2年3月卒業者の採用について採用活動を行った企業に聞いたところ、「予定数採用できた」と回答した企業は、**大学生等**については昨年度から**1.9ポイント上昇**し、**52.9%**となり、**高校生**についても**8.9ポイント上昇**し**52.3%**となった。また、「採用できなかった」と回答した企業は、**大学生等**については**4.3ポイント上昇**し、**20.3%**となった。なお、**高校生**については横ばいとなった。

また、来年度の初任給の増額を検討する企業については、**大学生等**、**高校生**ともに全ての規模別・業種別において昨年度に比べて減少した。

#### 「来年度の初任給を増額する企業割合(対前年度比)」

	回答数のうち増額する企業の割合		～99人		100人～499人		500人～		製造業		非製造業	
	割合	対前年度比	割合	対前年度比	割合	対前年度比	割合	対前年度比	割合	対前年度比	割合	対前年度比
大学生等	13.1%	-13.3P	10.3%	-17.2P	9.7%	-18.8P	18.5%	-4.7P	17.3%	-10.2P	7.7%	-17.3P
高校生	19.6%	-13.9P	22.7%	-10.0P	18.5%	-17.1P	18.6%	-13.1P	21.8%	-8.7P	16.4%	-21.7P

### 4 令和3年3月大学等および高校卒業予定者の採用計画について



令和3年3月卒業予定者の採用計画について採用計画ありの企業に聞いたところ、「採用人数を増やす」と回答した企業は、**大学生等**については昨年度から**9.3ポイント低下**し、**12.9%**となり、**高校生**についても**13.3ポイント低下**し、**15.9%**となった。また、「採用人数を減らす」と回答した企業は、**大学生等**については**10.0ポイント上昇**し、**16.3%**となり、**高校生**については**4.6ポイント上昇**し、**12.9%**となった。

## ～企業の声①～

### 【新型コロナウイルス感染症関係】

- 個人住宅の塗り替えや法人向け工場等の塗り替えを主なマーケットにしているが、**所得減少懸念を要因とする個人消費の後退**（需要の減少）、法人の工場稼働率の低下に伴う塗り替え需要減など、今後の先行きが不透明である。（化学工業・100人以上499人以下）
- 得意先の発注調整・工場休業の為、受注減による生産調整、外注に対する発注減で売り上げは減少。また受注調整による**人員の余剰休業も計画的に行われている状態が年内は続く見込み**。（金属製品製造業・99人以下）
- ビールのマルチパック（6本缶パック）の売上は好調であるが、一方、元々のインバウンド減少によるお土産物用の化粧箱の売上減少に加え、デパート・百貨店の買い物袋の中の台紙、学校給食用の仕切り板、新幹線用のお弁当箱等の売上が激減し、厳しい状況。**感染症終息後に備え、労働者を手放す訳にはいかない**。雇用調整助成金を活用し、**雇用維持に努めている**。（パルプ・紙・紙加工品製造業・99人以下）
- 企業の自粛による印刷物の減少、スーパーなどのチラシの減少により、印刷インキの減少の落ち込みが大きい。今後、現在の新しい生活様式が定着するようであれば、さらに**印刷業界に大きな影響**が出る。（印刷・同関連業、99人以下）
- 菓子缶、食缶、飲料缶、キャップ、工業缶などの完全受注生産を行っているが、**輸出用商材や観光地・テーマパーク等の営業自粛などにより著しく受注が低下**した。この結果、生産ラインを通常稼働することが困難となり、今後の見通しも立っていない。（印刷・同関連業・100人以上499人以下）
- プレスプレートを納入する会社は主に、自動車の電子機器・携帯電話の多層板、化粧板等の建材を製造しているが、国内外とも生産が減少している為、**新規の受注がなく**、今後の見通しもつかない。（鉄鋼業・99人以下）
- **消費増税以降受注が落ちており、感染症の影響により一層悪くなった**。中国の経済活動が他の国より早めに動き出したため、発注する部品等の遅れは解消しつつある。ただし、消費マインドも冷えているので、受注が回復するにはかなりの時間を要すると考えている。（金属製品製造業・99人以下）
- **テレワーク需要**でパソコン等の売り上げは伸びたが、コアな部分の複合機のカウンター料金及び買替需要が減少し、見通しが立たない。（機械器具卸売業・100人以上499人以下）
- 特需の状況にあるが、コロナ終息と共に売上も落ち着き、さらに**キャッシュレス還元の終了**が重なり、状況が悪化するのではという懸念がある。（飲食料品小売業・500人以上）
- 感染症対策のため、**入院患者・外来患者とも大きく減少**、手術件数も減少した。（医療業・500人以上）
- 工事の計画変更や中止が持ち上がり、市場が減少傾向。**発注単価に影響が出始め、今後の工事価格の下落が予想される**。ここ2～3年、観光事業の拡大により関連工事（特に、インバウンド向けホテル建設）が増加していたが、現在、新規のホテル計画が全く無い状況で業界全般に影響が大きい。（総合工事業・99人以下）
- **人手不足から一気に人余りになった**。ただし、店舗単位で考えると不足しているところもある。店舗においては、ランチ・テイクアウトを開始し、売上増加に努めた。（飲食業・500人以上）
- コロナの影響で世界全体の貿易が停滞している。**中国だけでなく、ヨーロッパ東南アジアも輸出入が制限**された状態である。船の手配もできないので長期化が予想される。（飲食料品卸売業・99人以下）

## ～企業の声②～

### 【新卒採用に関して】

- 採用人数は例年通りで進めているが、**面接等選考をWeb化したことで実際の職場を見られないことによる入社後のギャップが懸念**される。 （食料品製造業・100人以上499人以下）
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、**学生と対面のコミュニケーションが取れておらず、学生が企業への理解を深めにくい**。また、**Web面接で人物を見極めるのは容易ではなく懸念**している。 （はん用機械器具製造業・500人以上）
- 足元の業績予想は厳しく、人件費抑制は避けられない状態であるものの、**長期的には優秀な人材の確保は絶やしてはならず**、判断に迷っているというのが正直なところである。 （金属製品製造業・500人以上）
- 採用スケジュールが流動的になったこと、大企業の採用数等が判別しづらくなったことから**採用活動への労力が増している**。 （建築材料、鉱物・金属材料等卸売業、100人以上499人以下）
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で業績が悪化し、**在職者の雇用を守る**為、やむなく新卒の採用数を減らす方向で検討している。 （食料品製造業・500人以上）
- 就職活動が長期化し、学生達は不安感を持って過ごしていると思われる。弊社では、**未来のある方に対して雇用という形で支援していきたい**と思っている。 （繊維工業・99人以下）
- 大企業の採用活動が消極的になれば、我々**中小企業にとっては採用のチャンス拡大**となることを期待する。 （設備工事業・99人以下）

### 【その他】

- 必要とされる業種ではあるが、「**新しい生活様式**」に**会社としてどう取り組むかは手探りの状態**である。資本力のある大手は、Web上の買い物サイトの立ち上げ、店内の衛生管理への設備投資、ドライブスルー形式の薬局の新設等も始めているが、そこまで手が回らない。 （その他の小売業・100人以上499人以下）
- 衣料関係はかなりの不況の中、**ECサイトに関しては売り上げがアップ**しているところもある為、SNSを活用していきたい。 （繊維工業・99人以下）
- 新学期開始延期によるノートの買い控えが再開後どこまで売上に繋がるか不透明。また、**テレワークの進展に伴うビジネス需要への影響がどの程度出るのか**不透明である。 （パルプ・紙・紙加工品製造業・99人以下）
- サービス部門（メンテナンス、修理等）では従来から即日の作業完了率を意識しデータの蓄積を行っており、AIとIoTの活用により**サービスの向上と技術の伝承を兼ねた取組**を行っている。 （電気機械器具製造業・500人以上）
- **キャッシュレス（交通系IC、QRコード）決済開始**にかかる承認が非常に遅れている。契約先からは、7月頃までずれ込むとの説明あり。 （道路旅客運送業、100人以上499人以下）